



好記録が続出した、西宇和郡小学校陸上競技大会

(関連記事 9 ページ)

2010
国民読書年

じゃあ、読もう。

生涯学習だより

ふれあい

いかた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

12月のテーマ“年越しを感謝しよう”

(実践方法)

- 1年間をふり返って、今後のよりよい家庭づくりについて話し合おう。
- 冬休みの有意義な過ごし方について話し合おう。

平成22年
12月1日発行

No.68

12月号



伊方会場

各地域特色を生かした 4公民館で文化祭

今年度も相互交流実施

10月30日～31日は三崎文化祭、瀬戸地域芸能文化祭、
11月3日は、伊方文化祭と町見公民館まつりが開催されました。

今年度の郷土芸能発表は、塩成と三机の唐獅子、川之浜の五ッ鹿と太鼓集団「風」の演奏でした。また、今年度から公民館事業として実施しているフラダンス教室受講者による踊りの披露や、傘寿記念の剣舞等盛りだくさんの文化発表が行われました。展示作品の中には、手づくりで約2ヶ月かけて完成させたチリメン網一対400mの大作もありました。三崎地域

今年も地域間の連携強化のため相互交流が実施されました。めぐみ会(瀬戸：箏曲)が伊方文化祭へ、きそん節保存会(町見)が瀬戸文化祭へ、伊方堂々太鼓が三崎文化祭へ参加しました。また、鳥津地区書道教室の作品が三崎文化祭で展示されました。

町見会場



では、雨にもかかわらずバザー会場は買い物客で賑わいました。また、昔懐かしい足踏みタイプのもちつきには、来場者も挑戦していました。作品展示の中に、漂流しているフイを器用に細工した作品がみなさんの足を止めていました。

11月3日、伊方文化祭ではわらリースづくり(しめ縄作り)体験が行なわれ、来場者が挑戦していました。また、今年は老人クラブの作品出展(39名：100点あまり)が非常に多く、4階のホール一面が埋め尽くされていました。町見公民館まつりは、以前から町見公民館主事12名および各種団体の代表の方の協力で会場設営から当日の運営、かたづけを行なっています。また、公民館だけでは手狭なため、町見体育館で作品展示等を行なっています。今年は、昨年より多くの作品が展示されました。公民館では、「スティッチ・ザ・ムービー」の映画上映会や青年団のバザーが行われました。



三崎会場



瀬戸会場



- ①大正琴なぎさ会のみなさん ②各老人クラブ作品展
③伊方堂々太鼓ジュニア ④翠星会の舞踊
⑤小学生の踊り ⑥ふるさとの味即売
⑦手作り財布の作品展示
⑧漂流のブイを器用に細工した作品展示 ⑨文化祭のフィナーレを飾った餅まき ⑩しなやかな踊りを披露したハワイアンクラブ ⑪相互交流で参加したきそん節保存会のみなさん ⑫塩成唐獅子 ⑬自慢の喉を披露(民謡)

受講生募集!

「趣味講座 ～ペン習字教室～」

(楽しく・気軽に美しい文字を身につけませんか)

- 期 日 12月・1月(計6回 日・金曜日以外)
*日程を調整しますので、申込時に希望日をお願いします。
時 間 平日19:00～20:30(土曜日は昼間可能です)
場 所 中央公民館 3階 工作室
対 象 原則として伊方地域にお住まいの成人(15名程度)
持 参 物 水性ボールペン、万年筆、鉛筆、筆ペン
講 師 宇都宮 史先生
受 講 料 1000円(6回分)
申込方法 12月7日(火)までに住所・氏名・電話番号・希望日を中央公民館へご連絡ください。
伊方町中央公民館 電話38-1020 FAX38-1188

第44回

瀬戸地域駅伝大会 参加チーム大募集!

- 開催日時 平成23年1月9日(日)
主 催 伊方町教育委員会・瀬戸公民館
コ ー ス 四ッ浜地区体育館前～三机小学校グラウンド(13.3キロ)
詳 細 ※伊方町ホームページにて大会要項と申込書を掲載しています。
申込・問合せ 瀬戸公民館
電話57-2111

郷土の文豪の生い立ちにせまる

高橋新吉と富澤赤黄男の故郷を訪ねて

10月24日、公開講演会「高橋新吉と富澤赤黄男の故郷を訪ねて」が生涯学習センター5階の多目的ホールで開催されました。

会場には町内の人々ももちろん、主催「西南四国歴史文化研究会」とあって、宇和島・西予市方面の参加者も多く、約100名近い聴衆で埋まりました。

講演は、まず八幡浜史談会の清水真一先生が『高橋新吉と故郷の仲間たち』と題して、地元佐田岬半島は小中浦出身の高橋新吉についてお話されました。続いて元宇和島市立病院院長の近藤俊文先生が『富澤赤黄男の生涯』と題して、お隣八幡浜市保内町出身の

富澤赤黄男についてお話されました。

郷土出身の作家の作品と生涯が良くわかり、親しみと誇りが感じられるよい機会となりました。

※高橋新吉(1901-1987)

伊方町小中浦生まれ。詩人・小説家。日本のダダイズム運動の先駆者であり、後に禅の思想に傾倒して多くの独創的な作品を残した。代表作「ダダリスト新吉の詩」など

※富澤赤黄男(1902-1962)

八幡浜市保内町川之石生まれ。早稲田大学時代に俳句に関心を持ち、やがて新興俳句運動の旗手として作品を発表。代表作「爛々と虎の眼に降る落葉」など



池上馨氏に高齢者叙勲で瑞宝双光章

今年8月に88歳になられた元三崎中学校長の池上馨さん(現井野浦在住)に高齢者叙勲として瑞宝双光章が授与されました。

昭和18年度から昭和56年度までの39年間の長年にわたり、学校教育の振興及び青少年健全育成に尽力されたご功績によるものです。今後とも伊方町教育の発展にご協力いただきますようお願いいたします。



県小学校陸上記録会 60mで1位入賞

佐々木樹大くん(大久小)

津田 玲菜さん(伊方小)

11月6日、県運動公園で実施された「第23回愛媛県小学校陸上運動記録会」に本町からは、先般開催された「西宇和郡小学校陸上競技大会」の上位入賞者が参加しました。60mの競技で、男女共に佐々木樹大くんが8秒23、津田玲菜さんが8秒86で1位入賞しました。



町体育協会伊方支部主催の秋の恒例行事として行なわれているふるさとウォークが、11月14日に行われました。この日は、各中学校が文化祭ということもあってか参加者は少なかつたのですが、集合場所の役場前駐車場に元氣よく集まってきました。

はじめに、開会式のおと浅岡先生の指導で準備体操を行ない、午前10時、ピストルの合図でスタートしました。午前中は、湊浦地区からみかん畑の中を抜ける道路を通って水ヶ浦小学校までのおよそ5kmのコースです。途中、木の実を拾ったりみかんの収穫作業をしている方とのあいさつをしたりして進んでいきました。天気が良かったので、通常なら青い空と海、沖に浮かぶ島等の風景が目を楽しませてくれるはずだったのですが、季節外れの黄砂の影響が沖がかすんで折角の風景は



クロキツタの説明を受けました。



見ることができませんでした。水ヶ浦小学校で、スタッフが準備した豚汁と持参した弁当で風食。午後からは、残りおよそ3km。一休みした後、旧国道を役場方面へ進みます。仁田の浜では、町指定天然記念物のクロキツタの説明を聞いて実物を見ました。地域を歩きながら、ふるさとの物や風景を見て感じていいところを再認識することができ、健康づくりにもなった一日でした。

ふるさとの良さに触れる ふるさとウォーク2010

第6回 伊方町PTA研究大会 講演会

2010年11月12日から11月27日まで中国・広州で行われる「第16回アジア大会」のやり投げ選手であり、大会主将の村上幸史選手が来町。陸上競技を通しての講演と、世界屈指の強肩による実技を行なっていただきます。

講師 むら かみ ゆき ふみ 村上幸史氏

日時 2010年12月19日(日) 9:00～11:30

場所 瀬戸総合体育館

【講師プロフィール】



中学時代は軟式野球部に所属。愛媛県下では名の知れた強肩の好投手であったが、体育のハンドボールの授業中に陸上部顧問の先生の目にとまり、「やり投げで日本一にならないか」と強く推薦を受ける。その後、今治明德高校に進学し、陸上競技部に入部。2年次の1996年には、頭角を現し、インターハイやり投げで優勝(65m80)。3年次秋の東予選手権やり投げで76m54のジュニア日本新記録を樹立。1998年に日本大学に進学。同年フランスで開催された第7回世界ジュニア選手権で銅メダル獲得。これは、日本投てき史上、世界大会初のメダル。3年次の2000年に日本選手権で初優勝(以降2010年まで大会11連勝中)。

2002年にスズキに入社。同年釜山でのアジア大会に左頸骨の疲労骨折をおして出場し銀メダルを獲得。大会後に手術に踏み切りしばらく精彩を欠くが、2004年には自己記録を81m71にまで伸ばしアテネオリンピックに初出場。

2009年8月21日、ベルリンで開催された世界選手権男子やり投げ予選で、自己ベストの83m10(日本歴代2位)を出して決勝進出を果たし、8月23日の決勝で82m97を投げ、銅メダルを獲得した。



【お問い合わせ】

伊方町PTA連合会事務局

瀬戸中学校 電話 52-0029

伊方町教育委員会 生涯学習課

生涯学習係 電話 38-2661

見遊館より

クリスマス・リースを作しましょう！

12月18日(土) 午後2時から、クリスマス・リースを作しましょう！

参加される方は当日時間までに、3階見遊館にお越し下さい。

参加費：無料

映画上映会のご案内

12月11日(土) 3階見遊館にて映画上映会を行います。

室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越しください。

場所 見遊館内 集会室

作品名 バンビ

上映時間 1回目 10:00～11:10

2回目 15:00～16:10



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 見遊館 38-0211(内線856)

伊方スポーツセンターでより

トレーニング教室

個人プログラムを作成し、個人の目的に合わせたサーキットトレーニングを実施いたします。

マシントレーニングだけでなくバランストレーニングも行いシェイプアップ、アンチエイジング、転倒予防などに効果的です。

時間 ①18:30～19:50 ②20:00～21:20

場所 伊方スポーツセンター 3階トレーニング室

料金 2000円/1期(4回コース)

曜日 毎週水曜日



幅広い年齢の方が参加しています！
みなさんと楽しく身体を動かしましょう！

なお、くわしいお問い合わせは、下記にご連絡ください。

伊方スポーツセンター ☎38-1100

☎38-0776

公民館だより

各種事業実施中!!

瀬戸公民館

【自治公民館活動紹介】

三机四区対抗ソフトバレー

10月17日(日)、三机地区体育館において、三机四区対抗のソフトバレー大会を開催しました。

この四区バレーは健康づくり、住民のふれあいを図ることを目的に、毎年開催されています。

この日も、およそ30名の区民が、東・三田・上・西の四区に別れてソフトバレーの対抗戦を行い、和気あいあいと、爽やかな汗を流しながら、親睦・交流を深めていきました。



【第2回環境教育事業】

佐田岬灯台渡り鳥ウォッチング

10月16日(土)、佐田岬灯台公園にて、鳥の鳴き声が響く、澄んだ青空のもと、渡り鳥ウォッチングを実施。

少人数の参加でしたが講師の水本孝志先生に、途中、希少な亜熱帯植物なども紹介してもらいながら、渡り鳥の観察を行っていきました。

この日は、天気も良く、渡りの季節ということもあって、たくさんの群れで飛び立つヒヨドリや、ハヤブサのハンティング、ハイタカ、ノスリ、トビ、メジロ、シヨウビタキなど、たくさん野鳥を観察出来る貴重な体験となりました。



懇談を通して人・家庭・地域・町づくりへ 地区別人権・同和教育懇談会

三崎公民館

今年度も町内一斉に地区別人権・同和教育懇談会が行われましたが、三崎地域でも全地区を対象に区長さんとの連携を図りながら開催いたしました。

懇談内容は、2つの学習要領を採用しました。相談形式を用いた地区では身近な問題や結婚問題の相談内容に、殆どの参加者が自分の人生経験に照らして適切なアドバイスや活発な意見が出ておりました。

一方、歴史学習では、考えてみよう部落差別(明治編)と題して、三崎中学校の浅野先生、三崎小学校の眞矢先生が講師となって講話が行われました。当時はどのような社会の仕組みや民衆の意識によって差別が存在したのか、その差別の中で人々はどのような思いや願いを持ち生活していたのかを解りやすく話されました。また、参加者は明治になって出された「解放令」がどのような展開になっていったのか興味深く聞き入っていました。

この地区懇談会をとおして、日頃から身近な問題を自分の問題として捉え、人権感覚を磨き見直す場となったので

はないでしょうか。そして、家庭、地域内でも良好な人間関係が築かれ、地域のコミュニケーションを高めていくことが、真の人権が尊重される町づくりにつながっていくでしょう。

最後に「同和教育の早期解消に向けて、猪突猛進で推進しろ!」と言わんばかりに、懇談会帰りの夜道でイノシシ3匹に出会うなどのエピソードがありました。各地区的区長さん始め役員・地区住民の皆さんの人権・同和教育に対するご理解とご協力を頂き、今年度も実りある地区懇談会として終了いたしましたことに感謝申し上げます。



伊方地域子ども球技大会

中央公民館

10月23日(土)に伊方町民グラウンドで、伊方町自治公民館連絡協議会主事部会、中央・町見公民館主催、伊方町社会福祉協議会後援により、伊方地域子ども球技大会を開催し、伊方地域の小学生126名が参加しました。

この大会は、子どもの交流活動を促進し、青少年の体力向上と健全な育成を図ることを目的に毎年行われています。

チーム編成は自治公民館単位から36チーム出場し、6ブロックに分けて、各チーム5試合を行いました。

年々、子ども達の人数も減ってきて



おり、低学年の子ども達も参加していたので力の差が合ったチームもありましたが、様々な地区の子どもとの交流を楽しみながら、うれしかったり、悔しかったりしていました。半日という短い時間でしたが、大変有意義な日になったと思います。

「習字教室」開催！

町見公民館

10月25日(月)、28日(木)町見公民館に

おいて、習字教室を開催いたしました。講師に宇都宮史先生をお迎えし、10名の受講生が硬筆と毛筆にチャレンジしました。まず、「永」という字で、書道の基本となる筆使いを学びました。そして、筆の洗い方や硯(すずり)の手入れの方法等も教えていただきました。受講生の中には、小学生時代に使用していた習字道具を持参する人や、新たに筆や書き方ペンを購入して参加されている方もおられました。出来上がった作品は、11月3日(水)に開催された「町見公民館



まつり」に出展しました。

今年度の習字教室は残り4回を計画しています。受講生は、随時募集しておりますので、みなさまの受講をお待ちしています。

「習字教室」開催のご案内

(二見公民館まつり作品出展に向けて)

- ★とき 平成22年12月22日(水)、27日(月)・平成23年1月12日(水)、19日(水) 19時00分～
 - ★ところ 町見公民館1階大ホール
 - ★対象 原則として町見地区にお住まいの方(児童・生徒も保護者同伴の場合は参加可)
 - ★講師 宇都宮 史先生
 - ★受講料 一般1000円(4回分)、児童・生徒無料
 - ★準備物 習字道具一式・水性ボールペン・万年筆
- 参加希望の方は町見公民館までご連絡をお願いいたします。(電話39-0212)



学校通信



「継続は力なり」～体力の向上をめざして～

伊方中学校



さあ！今日も頑張って走りきるぞ！



放課後になると、一斉に全校生徒が運動場集まる。部活動のウォーミングアップも兼ねたランニングのスタートです。本校は本年度、愛媛県から「ジュニアスポーツ・フロンティアスクール支援事業」の指定を受け、生徒の体力の向上や、運動・スポーツへの興味・関心を高めるための実践研究を行っています。本校では、ここ数年叫ばれている生徒たちの体力の低下を克服するために、毎日、グランド10周のランニングを継続し、持久力の向上を目指しています。また、体育の授業や部活動では、バランスクッションを利用してボディーバランスを養ったり、ラダーを使ってステップのリズムやスピードを向上させたり、生徒のバランス

のとれた体力の向上を目指しています。当初は、グランドを走ることがかなり大変な様子でしたが、継続することで体力もつき、みな平気な顔で走れるようになってきました。その成果は、本年度から始めた運動会での全員リレーの生徒たちの力強い走りに表れていました。また、八西新人総体では、男子バスケットボールの決勝戦で第3クォーター終了時点で37対24で圧倒的に押されていたゲームを第4クォーターに入り、本校の足を使った素早い速攻と粘り強いディフェンスで13点差をひっくり返し優勝をつかみ取りました。また、野球部も苦しい試合展開でも粘り強く集中してゲームを運び見事、優勝杯を手に入れました。日頃のトレーニングの積み重ねだと思っています。正に「継続は力なり」です。今後も、生徒の体力向上を目指し活動を続けていきたいと思っています。

手作り参観日

三机小学校



10月29日、親子で、「スカイスクリュー」「ソフトプレーン」「ハイプレーン」作りに挑戦しました。低学年は、スカイスクリュー作りを行いました。子どもたちは、ゴム動力のおもちゃを作った経験がありません。お父さんやお母さんに手伝ってもらいながら楽しく作っていました。そして、出来上がったスカイスクリューを飛ばすのに、またひと苦労。プロペラの回し方が逆で地面に向かって一直線といったスカイスクリューも見られました。子どもたちは、お父さんやお母さんに教えてもらいながら、また、「これでもか」というぐらいプロペラを回し、高く飛ばして喜んでいる姿も見られました。

中高学年は、飛行機作りを行いました。中学年は飛行機の翼をはさみで切り、本体に取り付けゴム動力で飛ばすソフトプレーンに、高学年は翼をボンド付けした後、ゴム動力を付ける、やや難しいハイプレーンに挑戦しました。当日は、残念ながら、強風のため外で飛ばすことができませんでしたが、中学年は、友達と飛行時間を競争するなど、体育館で飛ばして楽しみました。高学年は、製作に時間を要し、飛行を楽しむ時間はほとんどありませんでしたが、粘り強く最後まで取り組み完成させました。休日の三机地区には、多くの飛行物体が見られると思います。



①400mリレー(男子)スタート ②60m・走り幅跳びを大会新記録で優勝した佐々木樹大くん(大久小)
③400mリレー(男子)ゴールの瞬間 ④60m・100mを大会新記録で優勝した津田玲菜さん(伊方小)
⑤60mハードル(女子)決勝 ⑥女子400mリレーを大会新記録で優勝した伊方小メンバー(左から津田さん・居村さん・井上さん・脇田さん)

応援の児童及び保護者等が大勢集まった瀬戸中学校グラウンドにおいて、郡小学校陸上競技大会が開催されました。盛大な応援に後押しされ、好記録が続出。最終種目の400mリレーでも、伊方小学校女子が2連覇の上大会新記録で優勝しました。記録上位者は、以下のとおり。

西宇和郡小学校陸上競技大会 5種目で大会新記録

成績一覧表

種 目		第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
男 子	60m	佐々木樹大	大 久	⑧8秒2	山 藤 海 聖	伊 方	8秒6	岩 村 豪 輝	三 机	8秒7	玉 里 将 平	三 崎	8秒9
	100m	岩 村 豪 輝	三 机	14秒1	山 藤 海 聖	伊 方	14秒2	中 藤 廉	水ヶ浦	14秒4	若 宮 佑 真	二名津	14秒8
	60mH	増 川 湧 介	三 崎	10秒2	松岡慎之介	伊 方	10秒7	佐々木 翔	大 久	10秒9	田 縁 大 晴	伊 方	11秒3
	400mR	伊	方	59秒2	大	久	60秒2	三	崎	62秒9	水 ヶ 浦		63秒1
	走り幅跳び	佐々木樹大	大 久	⑧4m75	山 口 慧 士	伊 方	4m12	田 口 仁 輝	九 町	3m87	根 来 奎 伍	九 町	3m80
	走り高跳び	西 川 真 悟	大 久	1m33	田 口 仁 輝	九 町	1m25	根 来 奎 伍	九 町	1m25	河 野 雅 功	大 久	1m25
	ソフトボール投げ	黒 川 貴 章	伊 方	56m58	松岡慎之介	伊 方	55m36	竹 村 教 平	水ヶ浦	54m15	渡 邊 幹 太	佐田岬	53m16
女 子	60m	津 田 玲 菜	伊 方	⑧8秒8	林 怜	九 町	9秒0	米田明日香	水ヶ浦	9秒1	森 橋 若 菜	二名津	9秒8
	100m	津 田 玲 菜	伊 方	14秒6 ⑧(14秒4)	居村萌々香	伊 方	14秒9	林 怜	九 町	14秒9	梶 原 知 夏	二名津	15秒2
	60mH	竹 本 夏 奈	大 久	10秒5	渡 邊 真 唯	三 崎	10秒6	井 上 菜 央	伊 方	10秒6	梶 原 知 夏	二名津	10秒8
	400mR	伊	方	⑧60秒8	水 ヶ 浦		62秒7	九	町	63秒8	二 名 津		64秒6
	走り幅跳び	米田明日香	水ヶ浦	3m59	守 田 桜 菜	二 見	3m43	山 下 礼 奈	伊 方	3m41	根 来 愛 佳	九 町	3m39
	走り高跳び	居村萌々香	伊 方	1m23	脇 田 彩 香	伊 方	1m15	中 藤 桃 華	水ヶ浦	1m15	森 橋 若 菜	二名津	1m15
	ソフトボール投げ	西 森 千 紘	伊 方	44m28	松 下 安 裕	三 崎	42m34	井 上 香 澄	三 崎	37m62	梶 原 詩 乃	佐田岬	32m36

※100m女子 津田玲菜さん () は予選の記録



図書館だより



12月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	(11)
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	(25)
26	27	28	29	30	31	

○…おはなし会
■…休館日

利用案内

■開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）
祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日

瀬戸・三崎地域の方へ

瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地

TEL(0894)38-0607

新着図書

●オススメ



・あいうえおにぎり えほん

／ねじめ正一 作、いとうひろし 絵

〈内容紹介〉

「あいうえおにぎり、「か」きくけころっけ、
「さ」しすせそーめん、「た」ちつてとんかつ…。
みんなみんなおいしそう。ひとつひとつ大きな
こえでよんでみてね。たのしくなるよ。



・生きようよ。

／細谷 亮太 著

〈内容紹介〉

寿命が尽きるまでは死なないでほしい。
子どもは絶対、死んじやいけない人だからー。
たくさん子どもたちの死を看取ってきた医師・
細谷亮太からの「いのち」のメッセージ。



・優しいおとな

／桐野 夏生 著

〈内容紹介〉

近未来の渋谷でたたかき生き抜く
ホームレス少年・イオン。彼は家族を
もたず、信じることを知らない。イオ
ンの孤独な魂はどこへ行くのか…。



・通りゃんせ

／宇江佐 真理 著

〈内容紹介〉

気を失った25歳のサラリーマン・
大森連は、介抱してくれた時次郎とさ
なの兄弟から今は天命6年だと告げら
れる。驚きながらも江戸時代を懸命に
生き抜こうとする連に、さなは想いを
寄せていく…。

《児童》

- ・もりのくまとティディベア / 谷川俊太郎 詩、和田 誠 絵
- ・てんぐのそばまんじゅう / 深山 さくら 作、長谷川 義史 絵
- ・シニガミさん / 宮西 達也 作絵
- ・ふうとはなとうし / いわむら かずお さく
- ・大きな運転席図鑑
- ・エネルギーってなんだろう / キンバリー・ブルベーカー・ブラッドリー さく、
ポール・マイゼン え、やまじ けんじ やく
- ・小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅 / 佐藤 真澄 著、渡辺 勝巳 監修
- ・プーさんの森にかえる / デイヴィッド・ベネディクトス 文、
マークバージェス 絵、こだま ともこ 訳
- ・だいじょうぶ3組 / 乙武洋匡 著

ほか

《一般》

- ・ツリーハウス / 角田 光代 著
- ・神様のカルテ2 / 夏川 草介 著
- ・チア男子!! / 朝井 リョウ 著
- ・人生の使い方 / 平 安寿子 著
- ・ほかげ橋夕景 / 山本 一力 著

ほか



《お知らせ》

12月29日(水)から平成23年1月3日(月)は年末年始のため、休館いたします。

休館中に本・雑誌を返却される方は生涯学習センター1階入口横の返却ポストをご利用ください。

CD・DVDは、4日(火)に直接カウンターまでお持ちください。



ピップスおはなし会のごあんない

～ 今月のおはなし会 ～

日 時：11日(土)・25日(土) 午後2時～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対 象 者：未就学児童および親子

小学校低学年児童

絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!



佐田岬の自然スライド上映会

菊・椿・つわぶき…

冬の花 特集！

12月22日(水) 19:00

お気軽に！

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習課
開館時間 9:30~16:30
休館 月曜日ほか

◆ 今月のきょうどかん ◆

2010年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■—おやすみ ■—夜スライド上映

小学生の「むかしの道具体験」好評です。

町見郷土館では、町内各小学校と連携して、むかしの道具を実際に使ってみて、暮らしの移り変わりを体験から学ぶさまざまなワークショップを開いています。

例えば…

- ・石臼をひいて黄な粉作り
 - ・七輪で炭火おこし
 - ・千貫切りでサツマイモ切り
 - ・担い桶と天秤棒で水運び
- などなど…！

使用する道具は、資料の保存状態や収蔵点数を考慮しながら慎重に判断しますが、今後も事前調整を重ねて、貴重な資料を確実に残しつつ、現代に上手く活かしてゆく活動を進めたいと考えています。
(写真は9月の大久小学校来館時)



町見郷土館から

与侈の亥の子

亥の子は現在町内では、伊方・三崎地域の一部で行われています。そのうち与侈では、今年も8人の子どもたちが2組に分かれて暗くなるまで元気に各々を廻って亥の子をつきました。

現在の与侈の亥の子は、四角い木片に紐を付け、その紐を何人かで持って唄に合わせて地面を突いています。これは与侈小学校があった昭和五〇年代にある学校の先生が呼びかけて復活したものだそうです。

しかし、その復活よりずっと昔、戦前頃に行われていた与侈の昔からの亥の子は、今とは少し異なるものだったようです。例えば、現在のように木で地面をついたりせず、何も持たずに輪になって歌うだけだったといえます。また歌詞もやや異なっていました。地元の年

配の方何人かに、断片的に思い出していただいた歌を辿ると、まず現在の歌い出し「いのこひとつ祝いましよ」は「ドンドひとつ祝いましよ」だったそうです。他にも「福の神舞い込め…」などといった歌詞があったといい、逆に現在の「ついた後には金たまれ、千両も万両もたまるよ」という歌詞はなかったそうです。

また、亥の子は夜のものといい、夜には、各家で小麦粉を練って、中に餡子を入れた団子をたくさん作り、一升枡の上に



亥の子(与侈 平成22年11月13日 撮影)

その団子を盛って、傍らに大根をまるまる2本「箸じや」といって洗ってそろえて供え、それらを各家の庭の上がり口に置いたのだそうです。

ともあれ、さまざまな変容を遂げつつも、現在なお、亥の子がしっかりと続けられていることは、大変喜ばしいことです。軒先に響く子どもたちの歌声が、今年も冬が近づいていることを教えてくれます。

取材協力・与侈のみなさん

佐田岬民俗ノート 67



平成22年度 南予地区人権・同和 教育研究協議会に参加して

伊方中学校 寺坂 俊一

研究主題『すべての住民が差別の現実に深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決への明るい展望を持ち、地域課題として主体的に取り組むにはどうしたらよいか。』のもと、八幡浜市内の各会場で表記の大会が開催されました。

私は八幡浜市立八代中学校で開催された第3分科会(中学校教育)に参加し、午前中は授業参観と研究協議、午後は2つの実践報告の後、研究協議をしました。

中学校1年生の授業では、聴覚障害がありながらも困難に屈することなく努力し続けている方がゲストティーチャーでした。その方の生き様を知り、考えることによつて、「強い意志をもつこと」、「よりよい人間関係を築くこと」の大切さを、改めて考えさせられました。授業後の研究協議でもこの点についての評価が高く、私たち教員の『生きた教材作り』の重要性を痛感しました。

午後の全体会では、「識字学級と

の交流を通じた実践」と「仲間作りのための具体的な実践」が報告されました。特に識字学級との交流では、生徒の変容が如実であったところで、参加者からも識字学級との交流によって多くのことを学んだという報告がなされました。特に、「文字を学ぶことは(差別との)戦いだ。」と表現された識字学級に通う方の言葉は、とても重い言葉だと感じました。

全体を通して改めて感じたことは、「生徒に身近にある差別の現実から学ばせる」ことがいかに大切であるか、どれほど生きた学びになるかでした。私たち教員は『学びの材・場』を創り出さなくてはなりません。そのためには私たち教員も学ぶ気持ちを強く持つていなければならぬと感じました。自分の責任の重さなど、自分自身を見直す良い機会になったと思います。私も生徒とともに学び続け、「差別をしない・させない・見過ごさない」大人の一人であるために、これからも頑張りたいと思いました。

人権フェスタ2010 “いかた”

テーマ 「すべての人の人権確立に向けた、
人権文化の構築をめざす」

と き 12月12日(日) 13:00～

ところ 伊方中央公民館 4階 大ホール

内 容 (開会 13:00～)

○中学生人権作文発表 伊方中学校3年 松田優香さん

○人権啓発劇「父の大切なもの」伊方中学校のみなさん

25年前に起きた日航機墜落事故で亡くなった田中愛子さん。彼女は被差別部落出身でした。婚約者の父は、息子の幸せについて考えます。

12人の生徒たちが、シナリオを作りました。夏休みに愛子さんのお父さんにも会いました。台詞の一つ一つ、表情、動き、生徒たちが必死で考え演じます。何かが伝われば嬉しいと思います。

○講演会「思いやりの心」

講師 桑原征平さん

○その他催物

小・中・高校生人権作品展示(1階ロビー)

人権相談(5階和室 10:00～12:00)

ふれあいマーケット(4階ロビー 12:00～)

講師 桑原征平さん



講師の横顔

“命知らずのアナウンサー”の異名をもつ人気アナウンサー。サラリーマンから新聞公募のアナウンサー試験で合格したという変わりダネ。長年のテレビ取材から語る講演は、話題豊富で楽しい。特別番組「さらば征平!最後の挑戦」は、民放連テレビ部門エンターテイメント最優秀賞を受賞。

1944年 京都市生まれ

1967年 成城大学経済学部卒業

1969年 関西テレビ入社

2004年 同社退社

以後、フリーアナウンサーとして活躍。

報 広
文 芸

俳句

町見野の花句会

曾孫の勇む産声天高し

上口久志

菊の香や湯あみの嬰の拳とく

岩見愛子

穴惑い惑う身丈をもて余す

菊池あつ子

虫の夜やことば探して書く便

林 そで子

咲き満ちし白き木槿の闇深か

川縁秀子

子の服も木の実もまわる洗濯

山田美恵子

土蹴って草鞋の軽し鹿踊り

岩井ふみえ

一歳の流れの早し神無月

得能カツミ

金太郎と名高き芋を掘りにけ

西山美津子

畑仕事摘みつつ帰る野菊かな

得能悦子

昇る陽にゆれて転ぶや芋の露

根来嘉子

耳とおき二人の話し後の月

大沢昭子

デッセンバ齡またるゝ砂館

城岡正治

三机句会

竹の杭添えて括らる秋桜

道下雅勝

釣人が波止いっぱいに小春風

大野律子

夫の食すすむ秋茄子味噌炒め

安田増子

さらさらさら葉擦れ爽やか露

長谷美久仁

天の湯

山本タカエ

日溜に夫と一服石路の花

高地瑠美子

さざなみ句会

晩秋の味噌汁妻の五十年

中谷段々子

去る秋を追いかけてゆく百舌

丸川一彦

金の無き国に住みたし十二月

大谷勉

曇り空名月出でず帰り道

石田満

猪もまた色づく蜜柑を待ちに

中谷ハル子

川柳

伊方川柳会

傍らに元気な人が居る安堵

井上良枝

列島はゲリラ豪雨に日々猛暑

上田幸香

一休みすれば寄り来る犬とい

山崎美喜

買って来た傘を忘れて借りて

門田千枝

泣き面に蜂の巣近く迫り来る

池田君子

代議士を君と呼ぶから騒ぐのか
徳内郁

指一本現代の利器煌煌と

田村智子

世渡りのうまい殿方赤い舌

木戸悦子

川柳会三崎支部

タバコ税財布の中も秋感ず

石田満

人権週間

(12月4日(土)〜10日(金))

【平成22年度啓発活動重点目標】

「みんなで築こう 人権の世紀」

「考えよう 相手の気持ち」

「育てよう 思いやりの心」

【趣旨】

国際連合は、1948年(昭和23年)第3回総会で世界人権宣言

が採択されたのを記念し、1950年(昭和25年)12月4日の第5回総会において、世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定め、加盟国などにこれを記念する行事を実施するよう

に呼びかけています。

我が国では、世界人権宣言が採択された翌年の昭和24年から

毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、全国的な啓発活動を展開しています。

【強調事項】

1 女性の人権を守ろう

2 子どもの人権を守ろう

3 高齢者を大切にすることを育てよう

4 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう

5 部落差別をなくそう

6 アイヌの人々に対する理解を深めよう

7 外国人の人権を尊重しよう

8 HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう

9 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう

10 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう

11 インターネットを悪用した人権侵害は止めよう

12 ホームレスに対する偏見をなくそう

13 性的指向を理由とする差別をなくそう

14 性同一性障害を理由とする差別をなくそう

15 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう

16 人身取引をなくそう

町内では、小学生の人権パレード等各種行事が実施される予定です。